

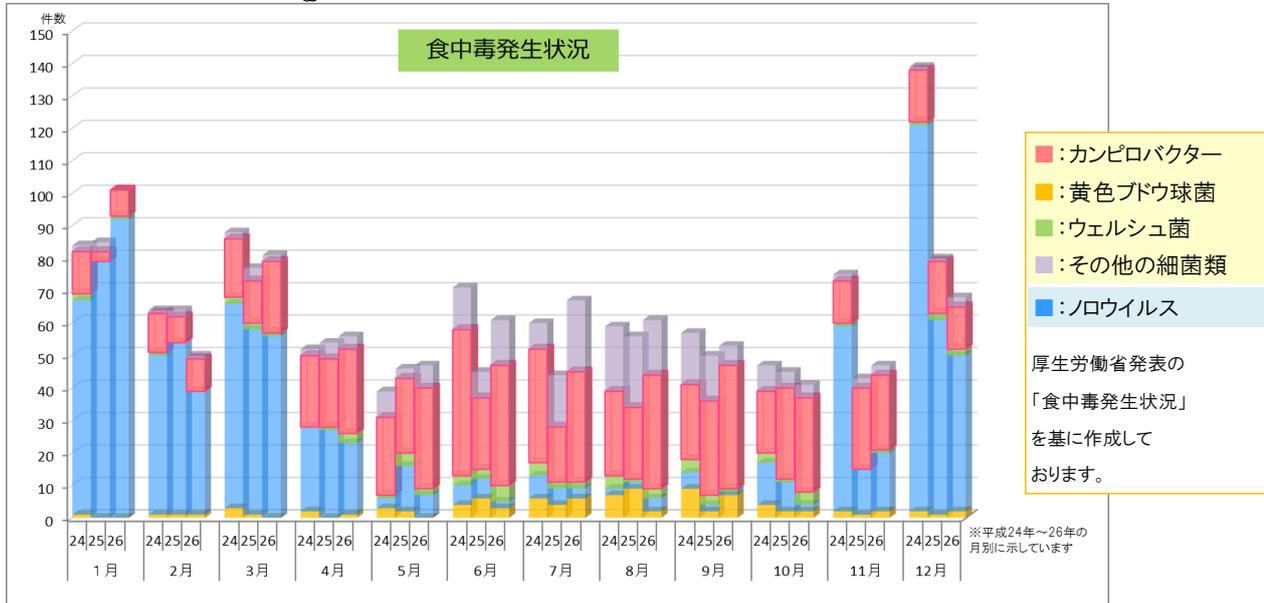
# 「食中毒」と検査

以前「食中毒」と言えば夏のイメージがありました。しかし最近は、「感染型食中毒」が主流となり、夏と冬、それぞれ別の原因での流行へと変化してきています。  
原因によって、対処方法・投薬方法などが異なるため、食中毒の原因特定は大切です。

## ～食中毒は「毒素型」と「感染型」に大別されます～

**毒素型**：食品中で増殖した多数の細菌、あるいは毒素を経口摂取したもの。  
**感染型**：少数の微生物が飲食物とともにヒトの腸管内に入り、増殖して発生したもの。

☞ “感染性胃腸炎”は「感染型」食中毒にほぼ相当すると考えられます



### 原因を特定するための主な（弊社受託可能）検査

感染性	ウイルス	ノロウイルス
	細菌	・赤痢菌 ・サルモネラ ・カンピロバクター ・腸管出血性大腸菌 (O157・O111・O26など)
毒素型	細菌	黄色ブドウ球菌

### 「感染性胃腸炎」の原因を推測するための症状や潜伏期間など

		主な原因	発熱	嘔吐	潜伏期間	便の特徴など
感染性	ウイルス	ノロウイルス	有り		約1～3日	水溶性。冬季に多い。
	細菌	赤痢菌	有り	無い事も多い	約1～5日	粘血便、水溶性。渡航歴との関連性大。
		サルモネラ菌	有り	有る事が多い	約1～5日	粘血便、水溶性。緑色便。
		カンピロバクター	有り	有る事が多い	約3～5日	粘血便、水溶性。
		腸管出血性大腸菌	有り(軽度)		約2～8日	鮮血を含む。
毒素型細菌	黄色ブドウ球菌	無し	有り	約30分～36時間	水溶性。	

検査に関するお問い合わせはお気軽にご連絡ください。

株式会社 **九州保健ラボトリー**  
Kyushu Hoken Laboratory

TEL 099 (218) 3636  
FAX 099 (218) 3553

[www.kyuhoh.co.jp](http://www.kyuhoh.co.jp)